



上原成商事<8148>、MBOで株式を非公開化



上原成商事は、同社の上原大作社長と上原晋作副社長の資産管理会社であるケイアイエンタプライズ（京都市）がMBO（経営陣による買収）を実施し、株式を非公開化すると発表した。ケイアイエンタプライズは現在上原成商事の株式11.49%を保有しており、TOB（株式公開買い付け）を通じて全株式の取得を目指す。既存の主力事業であるエネルギー販売市場が縮小する中で、潤滑油ろ過装置の製造・販売などの新規事業を開拓し、抜本的な事業改革を機動的に進めるには株式の非公開化が必要と判断した。買付代金は最大130億1700万円。上原成商事はTOBに賛同している。

買付価格は1株につき5150円で、TOB公表前営業日の終値4435円に16.1%のプレミアムを加えた。買付予定数は252万7702株で、下限は所有割合55.18%にあたる157万5900株。上原社長ら創業家一族は所有する全株式4.54%をTOBに応募する予定。

買付期間は2017年11月9日から12月21日まで。決済の開始日は12月28日。公開買付代理人は野村証券。

上原成商事は1943年に建築材料の卸売業として創業。1962年に現在の社名となり、セメント卸売りや、丸善石油（現コスモ石油マーケティング）の特約店として石油製品販売などを手がけてきた。1985年に大証2部に上場し、2013年から東証2部に移行した。